



合唱の練習

▼いよいよ合唱祭の練習が解禁になった。各「ぼとり」を中心に、しっかり練習しよう。今年はずいぶん昨年のリベンジを果たしたいところである。しかも、去年の2学年各クラスの歌唱にはそれほど大きな差はなかったということだから、ぜひ総合優勝を目指そう。例えば、卒業アルバムでの扱ひも、当然のことながら優勝クラスが一番大きくなる。みんなが同じ値段で買うアルバムの中に、ひととき大きな写真が掲載されるのは気持ちのいいものだし、そのアルバムを手にする卒業の日に、きっと自分たちの日比谷での日々が、誇らしく思い出として再現されることだろう。

▼一方、運動部の人で、いよいよ最後の大会の真っ最中という人もいるに違いない。また、最後の大会に向けて、悔いのない日々を送りたいと思っている人もいるだろう。担任としては、クラスとして、そういう人たちの思いも大切に作る姿勢も持ってほしいと思う。そして、だからこそ、最後の部活にかけている諸君も、昼休みや練習のない朝などには、遅刻せず練習に参加するなど、できる範囲で合唱に協力する姿勢を持ち続けてほしい。

▼一番いけないのは、理由もなく練習に遅刻したりサボったりすることだ。例えば、塾や予備校がある日に練習に参加できないのはしょうがない。しかし、朝練や、塾・予備校のない日の練習には参加できるはずである。できるだけ時間をやりくりして、みんなと一緒に最後のステージで歌う時、自信をもって笑顔を輝かせられるようになろう。

▼そうなるためには、友だちどうして声を掛け合うことも大切だ。例えば、自習室で勉強していて練習の時間になったら、互いに声を

かけあって練習に向かうようにしよう。そういう日常の一つ一つの行動が、舞台の上でのチームワークのようなもの、歌唱とは別のいい印象を生み出す秘訣のようなものに結びついて、ちょっとしかない歌唱の差にプラス α の効果を生み出し、それが最終的な結果をもたらしてくれるのではないだろうか。

▼何人かの人は気づいていると思うが（…って、気づいていない人が多いほど好ましい事態ではあるのだが）、3週間前から3年生の担任が3名ずつ、遅刻常習犯を特定するため（笑）、毎朝玄関前に立っている。そんな時間があれば授業の準備をしたいところだが、それでも遅刻が最終的な結果に結びつくことを我々はよく知っている（S藤、W邊、K早の各先生は日比谷で3回目の担任である…）からこそ、朝の20分が無駄にはならないことに期待しているのである。

だから、君たちもどうかそれに応えてほしいと思う。記録に残る遅刻が課題となっている諸君は数名であるが、朝のホームルームのことを考えると、もう少し早く来てほしいというのが担任の要望である。

▼明日の保護者会でも話題にするが、夏休みが明けると、9月1日のセンター試験説明会を皮切りに、センター試験への出願準備がいよいよ具体的に始まる。現役生は個人で出願するのではなく、学校がまとめて出願するが、その連絡はすべて朝のホームルームで伝えることになる。

ちょうど今は合唱の練習で遅刻が減る時期でもある。ぜひ、その時間帯での生活を維持するように努めてほしいものである。